

早蕨会月報
 毎月1回発行
 編集責任者
 山本真弓
 豊橋市東雲町162
 TEL. 61-1268

ボケ一〇番

〇五三二一六一—一三六二

院長 山本 孝之

一、ボケ(痴呆)とは

知能が充分成長しない精神薄弱とはちがって、一応成熟した知能が、年とってから働きの悪くなって、日常生活にも支障を来たす状態を、痴呆(ボケ)と言います。

年とともに痴呆の発生率は高くなりますが、特に七十五歳以後は、大幅に増加いたします。女性は男性より長生きしますが、痴呆の発生率は男性より遙かに高いですから、充分注意して下さい。

一旦痴呆になると、一日に何回もそそくをして、寝巻や布団を汚したり、大便を壁や畳にすりこんだり、

夜中に突然起き出して、外へ出て行き、そのまま帰って来なくなったりいたしますので、お世話をする人の苦勞は、並大抵ではございません。

又、痴呆はなかなかよくなるらず、寧ろ進行することの方が多く、入院を要する程ひどくなった方は、六カ月以内に六〇%、十八カ月以内に八〇%が死亡いたします。一般に痴呆は、色々な合併症を起しやすく、その合併症のために死ぬことが多いので、死因統計には現れにくいものですが、最も治療しにくく、最も死を招きやすい疾病として、癌と痴呆が私達人類に残された病いとなることでしょう。



二、ボケ老人をかかえる家族の会

老人がボケてくると、食欲は旺盛

になることが多く、夜となく昼とな

く、手当り次第に食べまくり、食物が見当たらないと、紙でも絵具でも食べてしまいますし、箸や茶碗を布団の奥深くしまったり、靴を床の間の子が棚へ置いたりします。その上物を置き忘れては、誰それが私の大切な物を盗んだと言いはったり、そうをするのでオムツをあてると、すぐオムツを取りはずして、布団の上で大便をしたり、床の間でおしっこをしたりいたしますので、お世話をする人は一寸の間もボケ老人から目を離すことができず、寝巻や布団を一日に何回も取り換えて洗濯しなければならず、その上、ボケ老人は夜も寝ないで、家中を歩き回ったり、外へも飛び出しますので、夜もオチオチ寝られません。本当にボケ老人のお世話をする人のご苦勞は、並大抵でなく、共倒れ寸前の状況に置かれることが屢々です。

そこで、京都の堀川病院副院長の早川一光先生が中心となって、本年

目次

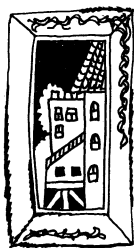
ボケ一〇番	山本孝之	1~2
◆医学講座◆		
痴呆	山本孝之	2~4
抗生物質について(I)	武田正治	4~5
ラポートの成立	石井和子	5
糖尿病	細井悦子	5~6
珠藻荘へ「金剛光」をご寄贈		6
家庭看護のポイント	河辺光雄	7
◆特集 高橋珠藻荘所長追悼◆		8~11
山本孝之・浦野達也・大谷房		
成田和夫・神田清水・石黒稔		
川角卓央・増田往代		
病院だより		11
処遇研究会	成田和夫	12
さわらび荘だより		12~13
訪問看護	大谷房	13
珠藻荘の入所者処遇	川角卓央	14
珠藻荘に入所して(短歌)小池克雄		14
野外教育に参加して	高橋角次	15
院内放送(朝の言葉)	高部ゆかり	15
野依福祉村建設資金寄付ご芳名		16
さわらび日記		16
六月美術案内		16

一月二十日に、「呆け老人をかかえる家族の会」を結成されました。

この会は、ボケ老人をかかえる家族やボケ老人に関心のある人の交流を通して、相互理解を深め、ボケ老人やその家族への援助、処遇の向上を図ることを目的として、毎月一回家族の交流をすすめるために例会を開催し、毎月一回会報を発行し、又個別相談や家族訪問等を実施することにして居ります。

会費は年二千円で、現金書留で、大津市日吉台二―三―一 ㊦五二〇―一、三宅貴夫先生宛に送ることになって居ります。

私も早速、加入いたしました。この家族の会が、マスコミで報道されると全国から加入希望が殺到し、岐阜を始めとして、全国各地で支部が結成されつつあるようです。豊橋でも、要望があれば、山本病院を支部として結成したいと思つて居ります。



三、ボケ一〇番開設

〇五三二―六一―一三六二
ボケ老人をかかえたご家族の苦しみは、筆舌にたくしがたいほど大変なものですし、又、ボケ老人にはいつ時どんなことが突発的に起るか解りません。

そこで、いつでも、ボケ老人のことでお困りの場合には、山本病院(〇五三二―六一―一三六二)へお電話下さい。担当者がいつでも御相談に応じ、的確な指示をするか、訪問看護をさせていただくか、短期間、ボケ老人をお預かりして、ご家族の心身の負担を少なくしてさしあげたいと思つて居ります。

医学講座 痴呆

院長 山本 孝之



一、早期発見・早期治療

ご老人の知能の低下や、精神的な異常を、なるべく早く見出して、専門医の診察を受けさせ、適切な医療

を受けて、生活も主治医の指導の通りに改善してゆけば、早いうちならばボケの進行を防ぐことができますし、場合によっては、よくなることすらございます。

ボケ老人のお世話をするのは、並大抵の苦勞ではありません。お世話をなさるご家族が心身ともに疲れきってしまったって、もうこんなボケ老人の世話なんて真平御免だと思つてからは、取り返しがつかず、ボケ老人は病院へ永久入院させられるか、老人ホームへほおり込まれてしまいます。

そこで、ご家族が疲れきってしまう前に、老人を早目に短期間だけ、病院や老人ホームへ預けて下さい。その間にご家族はまた元気をとりもどして、再びお世話をする気になられるものです。

二、ボケの誘因に対して

引っ越し、入院、老人ホームへの入居等、住む所が変わったり、配偶者



を亡くしたり、今まで同居していた子供さんと別居したりして、人間関係が変動するような環境の変化や、或いは、親友に裏切られたり、他人から軽蔑されたり、一番老人が頼りにしている身内の者から冷くされるような、辛く悲しい精神的なストレスにあたり、

また骨を折ったり、肺炎や心不全のような体の病気がかかったりすると、老人では屢々、ボケを起してまいります。

そこで、ボケを予防するには、先ず老人の環境をなるべく変化させないように努めることが第一です。たとえ、病気がかかったり、怪我をしても、なるべく入院させないで、家庭で治療する方が老人のためにはよいのです。どうしても入院させなくてはならない場合でも、ご家族がなるべく毎日お見舞いに行き、家庭に居ると同じような心境になれるようにして下さい。

また、配偶者に亡くなられたご老人は、特にボケや精神異常を起して来やすいものですから、充分な配慮が必要です。

更に、精神的なストレスを与えないように、いつも優しく親切に老人に接するとともに、悲しみに沈んでいるご老人は、優しく励ましてあげて下さい。

三、脳循環促進

① 頭を使う

世界老年学会で、ボケの予防について、専門家が討論した結果、最も効果的な方法として選ばれたのが、外国語の学習です。而も、今まで全く習ったことのない外国語、例えばスペイン語やギリシャ語等を学ぶのが、一番よいそうです。



外国語を習得するためには、一つ一つの言葉を記憶してゆかなければならず、その上、極めて高度な推理力や理解力も要求されますので、そのことが、心の老化を予防し、ボケ

の進行を防いでくれるのだそうです。

この他、絵を描いたり、楽器の演奏を習ったり、短歌、俳句、盆栽、園芸等を学び、且つ新しきよきものを創造しようと努めることは、大変ボケの予防に役立ちます。

② 体を使う

運動をすると、脳へ流れる血の量が増えます。特に下肢の運動は、脳の老化防止に役立ちますので、ほんの少しでもよいから、毎日規則正しく下肢を使った運動をして下さい。

四、ボケ老人の世話をする場合



ボケ老人が、ボケたままで、気持ちよく安心して暮せるような環境をつくりだすことが大切です。

① 理解と受容

ボケ老人が示す異常な行動に対して、「こんな行動をされるのはなぜか」と、ご老人の心の奥底まで入り込んで考えて、理解しようと努力を重ねる心掛けが、一番大切です。

老人の話が、たとえトンチンカン

でも、じつくりと時間をかけてよく聞き、言葉の裏にひそむ老人の真意を汲みとり、理解しようと努め、ボケ老人に、「私の心が解ってくれる人」と信頼されるようになって下さい。

そして更に一歩進んで、ボケ老人の心を支える人になって下さい。

② 老人の主観尊重

ボケ老人にとっては、思い込んでいることが真実なのだから、それを頭から否定しないことも非常に重要です。

例えば、老人はよく物を置き忘れてますが、それを老人が嫌いな人物を犯人だと考えて、誰それさんに盗まれたと言って大騒ぎすることがよくあります。そんな場合「貴方がどこかへ置き忘れたのでしょ」とは決して言うてはいけません。

なくなったものを探す場合にも、「容疑者」にされた人が納得してく

れば、先ずその人の部屋から探し、そして家中を探し、最後に老人自身

の部屋を探さなくてはなりません。

③ ボケ老人の中に未来の自分をボケ老人が小便をこぼして布団や寝巻きをよごしても、大便を食べても、それでボケ老人を馬鹿にしたり、軽蔑したり、或いは怒鳴りちらしたりしてはいけません。

何十年か経てば、やがて私達自身もボケ老人になる可能性は充分あるのです。その時、まわりの人にどのように接してほしいか、よく考えて下さい。

そそうをしましてしまって、ボケ老人自身も本当は情けないだろうと、その気持ちを察してあげて、「誰でも年だから、気にしなくてもいいのよ」と慰める位にして下さい。

と言って、過度の同情や熱愛も却ってよい結果にはなりませんから、適度に自制して下さい。

④ 肌のふれあい

少しの暇を見つけては、ごく自然にボケ老人の手をとり、背中をさす

りながら、話をして下さい。
肌と肌をふれ合うことは、老人にとって非常に快く、気持ちを落ちつかせる効果があります。

Ⓜ不眠に対して

夜も寝ないで歩き回ったり、被害妄想からまわりの人に暴力を振うような場合、とかく睡眠剤を使いたがるものですが、老人は薬の排泄が遅いので、連用すると副作用が強くなるものです。

だから、このような場合にも、睡眠薬を飲ませるよりも、老人の気をしずめ、安心させることの方が大切なのです。

「自分がここにこうしていても、絶対安心だ、まちがいはなく子供たちが私に尽くしてくれるから」と言う安堵感があれば、眠れるものです。イライラや不安をそのままにして薬で眠らせても、ボケはひどくなるだけです。



抗生物質について (I)

薬劑師 武田 正治

カゼを始めとしてあらゆる感染症に用いられている抗生物質は、ペニシリンGが、第二次大戦以後臨床応用されて以来、この約三十年間にめざましい発展をとげ、極めて多数の抗生物質が登場しました。

最近数年間に於ても、更にすぐれた抗生物質の開発が盛んで、以後二、三年の間にも四、五種類の抗生物質が、新発売されるように聞いています。

現在における抗生物質を大きく分類してみると

- 一、ペニシリン系抗生物質
- 二、セファロスポリン系抗生物質
- 三、アミノ配糖体系抗生物質
- 四、マクロライド系抗生物質
- 五、テトラサイクリン系抗生物質
- 六、ポリペプチド系抗生物質
- 七、その他、クロラムフェニコール系抗生物質

又新しくセファロスポリン系に類似している、セファマイシン系抗生物質も登場してきました。

今回は、まずペニシリン系抗生物質について、簡単に述べてみます。

ペニシリンは、皆さんご存知のよう、一九二九年、英国のフレミング博士によって青カビより発見されました。しかし、その当時、微生物がつくる物質の中に治療薬が発見されるのは誰も考えなかつたので、フレミング博士もペニシリンについて、その後あまり追究しませんでした。

その為に、ペニシリンが再研究されて、治療薬として考えられるようになったのは、十年後、オックスフォード大学のフローリー博士によって、それがブドウ球菌、肺炎球菌、連鎖球菌の感染に著効を呈することが発見され、その生産研究が、アメリカで始められました。日本に於ては、一九四三年(昭和十八年)頃より、研究が始められました。現在では、数十種類のペニシ

リン剤が開発されているのを見るとそのスピードの速さに、驚嘆をおぼえます。

それでは、何故ペニシリンが細菌を殺すのでしょうか。

細菌には、我々人間や動物の細胞にはない細胞壁の形成を阻害するからです。細菌を電子顕微鏡で見ると細胞質のまわりの薄い細胞膜の外にそれより厚い細胞壁が見えます。この細胞壁は多くのアミノ酸が、チェーン状に結合してできています。

ペニシリンの化学構造が、この細胞膜をつくるのに必要なアミノ酸結合の一部に類似しているために、その一部分に入りこんでしまいます。それによって、完全な細胞壁がつけられなくなってしまう。従って細菌が分裂して二個の細胞になろうとする時、新しい細胞壁はつくられず、溶菌して死滅するという訳です。以上の作用により、ペニシリンは出現当時、すばらしい臨床効果をおぼえましたが、年月の経過とともに、

いくつかの欠点も出てきました。
第一に、酸に弱いので経口投与が
できないこと。

第二に、細菌が産生するペニシリ
ン分解酵素（ペニシリナーゼ）によ
って分解され、ブドウ球菌を始めと
するいろいろな菌に、耐性株が出現
してしまったこと。

第三に、ペニシリンGは、グラム
陰性桿菌には感受性がないので、本
剤の適応は、もっぱら球菌に限られ
ているということ。

これらの点に対する改良が行われ
た現在では、経口投与できるペニシ
リン剤も、アンピシリンを始め多く
製造されていますし、又、耐性ブド
ウ球菌に有効なペニシリンも、グラ
ム陰性桿菌に有効なペニシリンも、
スルベニシリン、カルベニシリン、
ヒペラシリンなど、次々と開発され
て繁用されています。

ペニシリン剤は、アレルギー面を
注意すれば、その他に特に重篤な副
作用もみられず、次回に述べるセフ

アロスポリン剤やアミノ配糖体系の
抗生物質に比べて、使用しやすい薬
剤だと言えると思います。



症例②

レポートの成立

言語治療士 石井 和子

I・Mさんは五十七歳。昭和五十五
年一月十日夜、脳出血で倒れ、右片
麻痺となりました。本院にはその日
のうちに入院しましたが、意識はな
く、内科的にも不安定でした。

言語治療開始の指示が出たのは、
二月五日でしたが、まだ起き上がる
ことができないため、ベッドサイド
にて簡易失語症検査を行ったところ、
話す過程を除いては問題はみられま
せんでした。声を出すように指示す
ると激しい拒否がありました。

ベッドサイドの訓練には限界があ
り、訓練室で行う訓練のように有効
にはできませんので、内科的に安定
するまでの期間をレポートづくりの
ために使うことにしました。

一、簡単な質問を繰り返し、首振り

等の身振りで意志の疎通がはか
れることをわからせる。

二、患者の人格を尊重しながらも、
治療を行う上での「理由ある服
従関係」をつくる。

三、治療の段階毎の説明を与える。
これらを行いながら、患者さんを
観察してみると、呼吸、吸気ともに
量が不十分であること、発声発語諸
筋に強い麻痺がみられることがわか
りました。

訓練は、マットに寝た状態で、呼
気、吸気の増大を得るために、下部
肋骨を拡張して、深く息を吸い込ま
せたり、吸気を保持するために、吸
気のとすぐに呼吸に移らずに、息
を止めさせ、しばらくしてからゆっ
くり吐かせるようにしました。又、
座った状態では舌や口唇の他動運動
を行いました。

現在では口頭による意志表現も可
能です。

この症例は、ベッドサイドでの時
間が比較的有効に使われ、訓練への

とりかかりがスムーズとなり、ラポ
ートの成立が患者の表情を豊かにし、
笑い声を出すなど、呼吸パターンの
調整に役立つものになったことが良
い点だと思えます。

問題点は、回復速度がゆるやかに
なったため、不安を抱き、意欲が低
下することがあげられます。これに
対しては、十分な説明を与える中で
精神的支えをもたせていきたいと思
います。

糖尿病



給食課長 細井 悦子

糖尿病とは、糖質の新陳代謝障害
によって、血糖や尿糖の増加する慢
性疾患を言います。

字のごとく尿に糖が出る状態を言
いますが、ただ単に尿中に糖が出る
だけでは、糖尿病とは言いません。

健康な方でも一時的に甘いものを沢
山召上ったとか、一、二日、飢餓の
状態に近い食生活をしたとか、炭酸
ガス中毒、脳出血、その他いろいろ

の病状態でもみられます。

原因としては、膵臓内分泌部位(ラ
ンゲルハンス氏島)の病的変化によ
る(インシュリンの欠乏)機能障害
です。

☆誘 因

- ① 体質によるもの
- ② 不適当な食生活、飽食、澱粉過
食、ビール過飲の習慣のあるもの
- ③ ストレスが多いこと
- ④ 運動量が少ない
- ⑤ ウイルス感染に関係が深いもの
(若年型糖尿病に多くみられる)

☆症 状

徐々に発病してくる為、軽いうち
は殆ど気づかずにいます。

しかし、高い血糖や、尿に糖が出
ることなどから、口渴、多飲、多尿、
体重の減少といった症状が現れます。
それに関連して、多食、甘いものを
好むようになり、目がぼんやりする
調節力の障害、陰部掻痒、感染症に
かかりやすい症状が現れます。
尿量は、多量となり、健康人は一

日一〜一・五リですが、一日三〜五

リにもなり、頻尿となります。尿は
アセトン体を含み、果実のような臭
気をおびます。尿中の糖量は一日数
gから、重症では、三〇〇〜五〇〇
gの大量に達します。

インシュリンの作用が極度に不足
した場合に、糖尿病性昏睡がおきま
す。これには二通りあります。

- ① 体の中にケトン体が増えて、体
が酸性に傾いておきます。
- ② 高血糖高浸透圧性昏睡で、血糖
が高いためおきます。

これは、軽度の比較的高齢の糖尿
病者に起ることが多いです。かねて
軽いと思っていた糖尿病患者に、激し
い下痢や、嘔吐が起ったり、又、強
い利尿剤を使ったりした場合は、よ
く注意します。脱水状態とともに、
意識を失ってくる場合、まず、糖尿
病性昏睡を考えなくてはなりません。
我国の糖尿病の罹患率は、欧米に
比べ低く、又、程度も軽度であると
いわれていましたが、食事の欧米化

とともに、糖尿病は多発し、又、重
度の例も多くなっています。

かつては、富裕者に多く、平社員
より重役に多いと考えられていまし
た。しかし現在では、豊富な食品の
一般化に伴い、糖尿病も、又、一般化
してきました。

糖尿病は、数少ない若年型とい
うのを除くと、大部分が成人型です。

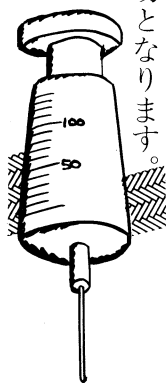
又、成人型糖尿病は、高年齢となる
につれて、増加の傾向にあります。

従って、現在のうちに、人口の高
齢化が進むにつれ、糖尿病の罹患率
が上ってきます。

四十歳以上で糖尿病の存在を疑わ
れる者は、約五割で、男女間に頻度
の大差はありません。

糖尿病患者の数は、百万〜二百万人
の間と考えられます。

我国は、欧米と比べると比較的軽
症であり、検診によって重症化の予
防が容易となります。



「寄贈の「金剛光」を手に本田氏(左)と山本理事長

珠藻荘へ「金剛光」

五月七日、豊橋市美術博物館にお
きまして、老津の彦坂雪邑先生の書
「金剛光」を、北ライオンズクラブ
の本田宗隆様のご紹介により、珠藻
荘にご寄贈いただきました。

現在、表装中ですが、表装でき次
第、珠藻荘の玄関ホールの壁に飾ら
れる予定です。

―6月度 早蕨市民大学日程―

- 5日 医学講座(三) 山本孝之
- 12日 渡辺華山について 杉浦明平
- 19日 中近東の歴史と文化(二) 鈴木中正
- 25日 心理学(三) 生田博之
- 26日 時事解説(三) 大森 修

家庭看護のポイント

用便の世話

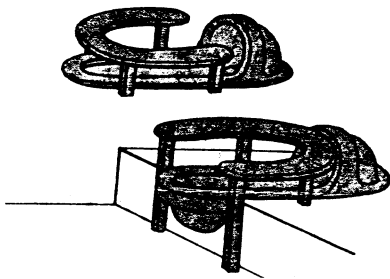
さわらび介護協会事務長 河辺 光雄

健康な時でも病気の時でも、大小便が支障なく行われることは、とても大切なことです。そして、できれば他人のお世話になりたくないと思います。少々苦痛があっても、トイレだけは自分で行きたいと願っています。このような病人の気持ちをごくんで、いやな顔もせず、お世話しましょう。

へトイレまで歩ける場合

冬季は寒くないよう、羽織やガウン、カーディガンなどを着せて、必要があればトイレまで介添えしましょう。洋式

トイレの方が楽ですが、和式の場合でも、和式トイレ用の腰かけ便座が市販され



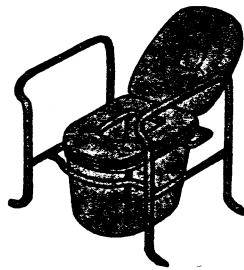
和式トイレの腰かけ便座

ています。療養中でなくとも使えます。トイレの中もすきま風を避け、トイレには手すりをつけた方が危くありません。外からすぐ開けられるよう、鍵はかけないようにします。

へトイレまで行けないが

起き上がれる場合

ポータブルトイレ、又はおまるを使います。窓をしめ、カーテンや障子などで、誰からも見えないようにします。ポ



ポータブルトイレ

ータブルトイレの場合には、お尻が椅子の上にあ安定するよう腰かけさせ、便器の位置を確かめ、毛布等で腰の周りをおおって、自分で拭ける場合は、チ

り紙を渡し、看護人は退室します。折りを見て、部屋の外から声をかけたり、又は呼鈴を側においてもよいでしょう。用便がすんでいるのを確かめてから、室内に入ります。病人は臭気を気にしますので、便器や

ポリバケツのふたをしてから、窓や戸障子を開け、風を通します。

床の中で便器を使用する場合

カーテンや障子をしめ、プライバシーを守った上で、掛け布団をはずし、タオルケットか毛布一枚をかかけます。寝巻きのすそを腰の上までたくし上げ、両膝を立てさせ、看護人の片方の手を腰の下に差し入れて持ち上げ、ビニール布、又は古いシーツのようなものを敷き、温めておいた差し込み便器(使用前に湯でゆすぐとよい)を差し込みます。



差し込み便器

家事の途中で、呼ばれたからといって、ぬれた手をあわてて拭いて、冷たいまま世話をするのはよくありません。気持ちよい世話は、看護者の手が温かく乾いていることが基本です。

女性の場合、排尿のさいに尿が確実に便器内に流れるように、チリ紙を縦に四つ折りにしたものを、外陰部に当て、膝を合わせます。

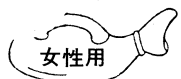
男性の場合は、排便の際にも尿器を使います。この際、上半身をいくらか高くした方が、尿や便が出しやすく、間違って背中にもまわることありません。毛布、座布団を折って背中の下に入れるとよいでしょう。

又、便器使用

用になれないため、出にくい時は、病状に差しつかえなければ、上半身を起し、両手を広げて、体の外方で支えるようにすると出やすくなります。



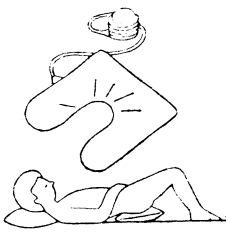
この姿勢だと出やすい



女性用



男性用



採便クッション

〈特集〉 追悼

弔辞



高橋 正夫氏（珠藻荘所長）

院長 山本 孝之

本年二月十四日より、桜ヶ岡病院で入院加療中のところ、五月六日午後一時四十八分、胃癌のため、同院で死去されました。享年五十八歳。

告別式は五月九日正午より、豊橋市花園町の正琳寺におきまして、多数の方のご参列のもとに、しめやかに行われました。



敬老の日を祝うありし日の高橋所長＝さわらび荘にて

高橋さん、私は今、貴方とともに歩んだ人生の日々を走馬燈の絵のようには思い出して居ります。

その当時、福祉事務所長だった早瀬さんと、私に逢いにいらっしやっただのが、貴方と私との運命的な最初の出逢いでした。その時の貴方は、右手を額にかざし、眉を寄せ、必ずしも喜んで山本病院へ就職されるようには、お見うけしませんでした。でも、山本病院で働かれるようになられると、それまでの病院の欠陥をどんどん改善されるとともに、当時、一番難航していた社会福祉法人の認可の業務や、特養さわらび荘の建築事業に、その冴えた腕を振られました。

そして、さわらび荘が完成するや初代施設長となられ、難しい経理や人事の面を、うまく処理されて、見事、老人ホームの運営を軌道に乗せ

て下さいました。その上、ホームに収容されたご老人に、幸せな生活のため何くれと細やかな施策を施され

るとともに、さわらび荘の施設と、スタッフを広く開放されて、この地域の老人福祉の向上のために、多大の貢献をなさいました。

更に、野依福祉村の難かしい認可業務から、諸官庁との接衝を一手に引き受けて、それらの事業を精力的に推進して下さいました。現在、野依福祉村の建設が順調に進み、その第一歩として、身障者療護施設「珠藻荘」が立派に完成いたしましたのも、ただ、ただ、ひとえに高橋さん、貴方のおかげです。

貴方は病魔におかれ病院のベッドに就かれてからも、一刻も仕事を忘れることなく、病床から私達を指導し続けて下さいました。その高橋さんに、立派に出来上った珠藻荘をせめて一目だけでも見ていただきたいというのが、私達早蕨会の職員一同の願いでした。けれども、それも

果さずに亡くなられたことが、かえすがえすも残念で御座居ます。

山本病院にとっても、社会福祉法人にとっても、はたまた、万葉商事にとっても、まさに貴方は中心的な指導者でした。

その貴方を失った今、私達はただ、茫然自失なすところを知らない有様で御座居ます。でも貴方が抜けた後の大きな穴を、私ども皆の努力でなんとか埋めて、理想的な福祉村をつくりあげて、この地域の医療と福祉に多大の貢献することが、亡き貴方への最大の供養となると固く信じて居ります。

どうか草葉の陰から私達をお守り下さい。

尚、貴方のご家族のことは、今後もできるだけのことをさせていただきます。くつもりですので、ご安心下さい。高橋さんのご冥福を心より祈りつつ、拙い弔辞を終りいたします。



合掌

高橋所長を偲んで

さわらび荘所長 浦野 達也

去る五月六日午後一時四十八分、珠藻荘の所長であられた高橋正夫さんが永眠されました。

所長は、二月十四日より病気の為桜ヶ岡病院に入院して以来、闘病生活を送っておられたのですが、真に残念でなりません。

生前の所長は、大変御自分に厳しい方で、病弱であったにもかかわらず、そのやせた御身体に鞭打つように、本当に献身的とも言える活躍をされ、「さわらび荘」並びに「珠藻荘」の開設に多大な貢献を残されました。これ等の施設は、所長の努力無しでは生まれ得なかったと言っても決して過言ではありません。

私がさわらび荘で、所長と共に仕事をさせていただいた期間というものは、本当にわずかなものでありましたが、その間、公私共に受けたその厳しい、そして愛情のこもった御

指導は、筆舌の及ぶところではありません。

所長は又、麻雀や酒宴が大変にお好きな方で、職員同士で集まった時など、お声をかけずにおりますと、決まって翌日のご機嫌に差し障りしました。(所長の御身体を心配して、気を遣っていたのです)

このような気風が、あらゆる面で職員と共に、そして先頭に立って、問題にぶつかって行く所長の姿を表わしていたと思われまます。

高橋所長の築かれた「さわらび荘」「珠藻荘」を、職員全員が協力して末長く守り、入所者の皆さんに満足していただけるように運営をして行くのが、私達の使命であり、所長への感謝とはなむけになることと思えます。

今後共、私達の惜しめない努力を誓って、高橋所長への追悼の言葉に代えたいと思えます。



高橋所長との思い出

さわらび荘婦長 大谷 房

私が桜ヶ岡病院に勤務しておりました時、高橋所長とは四年間ご一緒でした。その間、いろいろと私生活の面、仕事の面でお世話になりました。大きな声でしかられる時もありましたが、又、皆と大勢でお酒を飲みに行くなど致しました。所長は大人お酒が好きなようでした。

桜ヶ岡病院では、事務長という役柄で大変でした。今考えますと、本当にいろいろと忘れることが出来ない思い出が、目の前に浮かんでまいります。頼まれれば、いやだと言うことが出来ないご性格で、何組かの結婚の仲人もやられ、「皆、仲よくやってくれている」と言って喜んでおられました。実に数多くの方々の面倒をみて来られました。

休むことなく、骨身を惜しまなかつた積年の疲労が、一度に出してしまったのでしようか。所長は、常に

私達に一生懸命がんばるようにと、励まして下さいました。今でも、その時の顔を忘れることができません。本当に惜しい方を失い、かえすがえすも残念でなりません。

とても印象に残っていることでは桜ヶ岡病院にて、一度大きなカミナリを落とされたこと。その時は私も怒れてしまいましたが、後から考えると、私が悪かったことがわかり、恥ずかしく思いました。思い出は尽きないものです。

所長さん、安らかに眠り下さい。そして、これからの早蕨会の行く末をいつまでも見守って下さい。私も一同、心からご冥福をお祈り致します。

最期までお仕事に情熱



さわらび荘リハビリ課長 成田 和夫

昭和五十二年二月のある日、「さわらび荘に一緒に行くか」「では僕を連れて行ってくれるのですか。」

これが高橋所長(その頃は山本病院

の事務長)と個人的にお話をした最初の会話であったように思います。

五十二年四月より、職場で、あるいは行楽やら麻雀を囲んだり、御一緒させて頂きました。残念なことは私は酒が飲めず、酒豪である高橋所長とはお付き合いできませんでした。

職場では、職員間の和を事あるごとに口にされていきました。もちろん早蕨会全体、あるいは他との関連から、職員と見解の差が出たこともあったわけですが、仕事において厳格な反面、遊ばれる時には、御病身にもかかわらず、皆を楽しませるべく愉快に振る舞われたことを思い出されます。

最後にお会いしたのが、二月二十日で、お元気な姿でしたので、まだまだ実感としてわきません。何はともあれ、早蕨会のためにも、たとえ御病弱であろうとも長生きして頂きたかったと思います。

しかし、一面において、御遺族の方にとっては失礼ですが、御本人にとりまして、最期まで仕事に情熱を燃やし、部下や職場に心を配られるのを拝見しまして、うまく表現できませんが、うらやましい気が致します。今となつては、亡き高橋所長の御意志を、職員一同心に刻み込んで、早蕨会の発展、さわらび荘、珠藻荘の充実に努力致したいと思えます。

高橋所長をお手本に

さわらび荘事務 神田 清水



れた歌の一つに「男なら」という歌があり、神田歌えと言われ、何度も繰り返し歌ったことを思い出します。昭和五十四年度は、珠藻荘の建設もあり、大変張り切ってみえ、体の調子の悪い時でも、仕事のことになれば、体のことも忘れて仕事をしておられました。

さわらび荘が開設すると同時に、私は高橋所長の下で、事務員として勤務しました。

まだ、大学を卒業したばかりの、何もわからない私に、手をとるよう

に教えていただき、施設へ入る措置費などの性質についても、口を酸っぱくして言われたこともあり、仕事の上では大変厳しい方でした。しかし、仕事が終れば、よく麻雀など誘

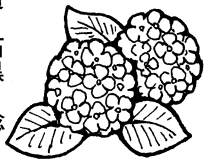
っていたものでした。行楽などで、酒を飲むとよく歌わ

病院に入院されてからも、やはり仕事のことが気になるとみえ、ベッドに寝て書類を見ている姿を見て、男にとって仕事とは、ここまでやるものかと、自分の考への甘さを反省させられました。

私も所長の仕事に対する生き方を今後の手本にして、頑張りたいと思います。

多大なご指導と影響

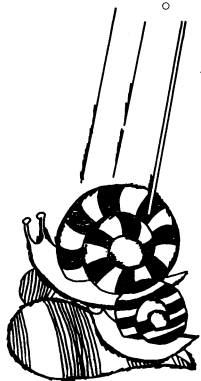
さわらび荘生活指導員 石黒 稔



一口に言つて、私の印象としての高橋所長は「やさしさのある男らしさ」という言葉に尽きます。仕事上ミスをした場合も、決して多くの事は語らず、それでいてその時の注意は心にしみるものがありました。

珠藻荘の開設の準備にあたっては私の自主性にまかせて下さり、多くの施設見学をさせていただいただけでなく、私達の無理なお願いも、心よく受けて下さり、今思えば、その信頼に十分応えることが出来なかつたことに、私自身心残りが致します。

所長を失ってしまった今、所長に直接学ぶことができなくなりましたが、高橋所長の仕事に対する熱意と早蕨会への深い愛情は、私自身の中にも培われており、所長の意志を継いで、一日も早く良き指導員となり、早蕨会を盛り上げて行くよう、心から所長のご霊前に誓いたいと思っております。



た御指導と影響には多大なものがあります。

福祉村に所長あり

珠藻荘生活指導員 川角 卓央

私自身大変いろいろな面でお世話になり、他界されたことはどう言ったらよいのか、私自身の中に大きな空洞が出来、果してこれを何で埋めていったらよいのか、本当に混沌としています。

今、所長が私の前におられたら、仕事でもいつも言っていたように、健康について、断固、悪害のよろも

ろの事を強くやめさせるのに、やめさせたいのに……。今はもう、僕の意見をぶっつけて行く人がいなくなっ

てしまったではありませんか。時としてはまるくおさめ、時としては鋭くつき離され、精一杯真剣に

考えていただきました。本当に良き指導者であったように思われます。今、こうして珠藻荘に向向してきて

珠藻荘が完成し、更に各種福祉施設

の開設が予定されています。本当に

微力な私達ですが、所長に指導して

いただいたことをもととして、全職

員頑張りたいと思います。

こうして文面に向向しても、私には

これだけしか書けません。余りにも

人間的にも仕事の面でも、強く影響

を受け、未だに次から次へと思ひ出

が浮かび、言葉ではうまく言い表せ

ません。

野依福祉村には常に高橋所長あり

という気持ちを持ち、ここにみえな

くても、所長の言葉一つ一つを思い

出し、これからの私自身の糧にした

いと思ひます。

追悼歌

珠藻荘寮母長 増田 往代



ひゅうひゅうと

高圧線を鳴らしめて

風の渡れり君逝きし日も

みぬままに

逝きたることを悔やみん

浜風受けて「珠藻荘」建つ

野路を来て

五月の空に映えて建つ

「珠藻荘」あり君在りせぬに

〈病院だより〉



☆新入社員歓迎ボーリング大会

五月十日、本年度のスポーツ委員

会企画として、新入社員歓迎ボーリ

ング大会が、二川のキャノンボール

に於いて行われました。参加者も三

十五人と多数出場。

今回は、優勝カップをはじめ、数

多くの賞品も協賛していただき、一

段と熱の入った楽しい大会でした。

両手でボールを投げる人、溝清掃の

好きな人、そして何とボールを後に

投げる人もいて、会場は爆笑の連続

でした。

これからもスポーツ委員会は様々

なスポーツを企画して、職員の方に

数多く参加していただけるよう考

えています。

―ボーリング大会成績―

一位 武田 正治(薬局)

二位 鎌田 博幸(リハビリ)

三位 西川 由美子(医事)

五月度福祉基金運営委員会報告

五月二十四日午後二時半より、五

月度ボランティア活動を行いました。

訪問先は寝たきり老人二軒(参加者

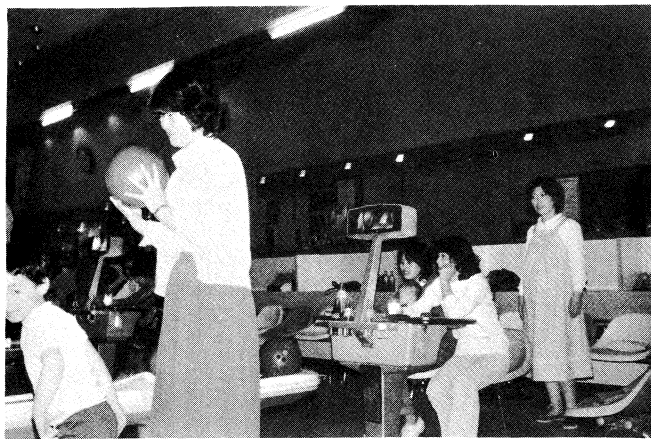
八名)。

半年前に訪問したご老人を再訪し

ましたが、もう顔なじみで話もはず

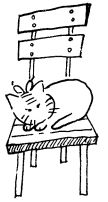
み、リハビリの指導も加えて、ご家

族の方共々とても喜ばれました。



ストライクねらって……盛大に行われた新入社員歓迎ボーリング大会

処遇研究会



さわらび荘リハビリ課長 成田 和夫

一、経過

明治三十九年静岡県引佐郡生まれ女性。結婚後三男四女をもつける。

四十八歳の時、夫と死別。この頃軽いリウマチが出て、仕事は草取りと孫の子守りが主になり、四十八年七月に脳卒中、左片麻痺となる。

その後、四十九年六月四日山本病

院に入院し、リハビリ訓練を受け、立位保持、坐位保持及び歩行器による歩行も可能になったが、肥満体(七〇キ)と関節リウマチの冬期悪化、及びオムツがはずせず、家庭看護が不可能というところで、五十二年九月一日さわらび荘に入所。

二、入所時の運動能力

立位保持可、歩行器歩行わずかに可、ベッド昇降不可、坐位保持可、左上下肢わずかに動く、入浴不可。

三、その後のリハビリ

昭53・5・31 部屋から風呂呂場ま

で歩行器で可能になる。

54・3・4 オムツを取ってみる

―尿回数が増え頻繁にて失敗。

54・5・8 イスからの立位が楽

になり、姿勢も大分良くなった。

54・10・12 黄疽の為山本病院入院

55・1・4 全快し退院。

55・4・12 暖かくなり、リウマ

チも軽減し、歩行器歩行も楽そう。

55・4・28 歩行器歩行上達、廊

下二周可能。

55・5・10 低周波治療追加。体

が楽になるとのこと。廊下も三、四

周歩けるようになる。

四、研究

毎年、暖かくなると体調が良くなり、寒くなると悪くなる。今年の夏に向って、どこまで能力向上が望めるか、そしてその為に各部署が何をすべきかを考えた。

へリハビリ

①リウマチの出やすい膝関節の柔

軟及び各種関節の可動域保持増大運動。

①各種筋力の保持増大運動。

②坐位、立位時間持続延長。

③日常生活の完成、ポータブルト

イレにかけられる様にする。

〈生活指導〉

④移動販売時において、間食購入

制限と指導。

⑤本人の意欲を開拓してゆく。

⑥本人と家族のパイプを密にする。

〈看護婦〉

①リウマチ及び胃弱体質の看護。

②褥瘡、湿疹の防止。

〈寮 母〉

①毎食前三十分の坐位保持とその

ままの食事。

②ベッドにベニア板を敷き、固く

することによって、体位変換、移動

を容易にする。

〈給 食〉

①適度な減量が可能になる給食制

限の考慮。体重五十キを目標とする

様、医師と相談する。

②全摂取量を調査し、バランスの

とれた栄養を考える。

五、目標

(1)関係職員全員による健康保持増

進。

(2)計画的な機能訓練の実施により

寒くならないうちに日常生活を可能

にし、寒くなくても寝た切りにさせ

ない。

(3)オムツを取り、家庭復帰。

以上の様な研究結果が出たわけで

すが、家族もしっかりしていて、な

お本人も病院、施設生活七年目にし

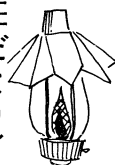
て状態の好転に意欲を燃やし、家庭

復帰の希望を見出し以上、職員

一丸となってこれに取り組みたいと

思います。

へさわらび荘だより



一、東高校生よりお手製クッキー

豊橋東高校の慰問の生徒さん達が

みえるようになってから、二年目に

入りました。

さわらび荘としては、ボランティア

の人達が見えて、自分達のもつて

いるものを十分にお年寄り達のため

に發揮していただき、そして、何か一つでも、そういう活動の中から学んでいってもらいたいと、考えています。

五月十日の東高校生の慰問では、お年寄り、一人一人にクッキーを焼いてきてくれました。各部屋をまわり、手製のクッキーを各お年寄りに配っていく姿を見てみると、心温まる思いが致しました。又、お年寄り一人一人にとっても、孫くらの年代の人達からお手製のクッキーをもらうことは、どれだけうれしいこと



うれしいね、と東高校生の慰問に大喜びのお年寄=さわらび荘

でしょう。

多くの慰問の方がみえますが、心から自分達のもっているものを、お年寄りのために捧げてくれる人が、一人でも多くみえることを願っています。



う〜ん、仕上げは難しい、作品に取り組む皆さん=さわらび荘

二、楽しい陶芸教室

昨年の九月より始めた陶芸教室も入居者の良いリハビリであり、楽しみとなっています。

四月末に行われた豊橋西武百貨店のバザーに於ても、全品売り切れ。

入居者も、徐々に自信をもってまいりました。

六月の予定は次のようになっていきます。

- 6/9 先生指導 本焼の仕度 生地作り
- 6/10 先生指導 本焼 生地作り
- 6/23 職員と入居者のみ 反省会

茶会（作品を使用）

訪問看護

さわらび荘婦長 大谷 房



Hさん七十六才、三年前畑で仕事をしていた脳出血にて倒れ、近くの病院へ救急車で運ばれ、すぐ入院したそうです。それ以来、退院された現在も病院へ通院してみえます。

右片麻痺で言語障害が少しありますが、私達との対話には、わかりにくい事はありません。血圧も倒れたときは二四〇〜一一〇ありましたが現在は訪問するたびに大分落ち着いて一五〇〜八〇位です。とても元気がよく食欲もあり少し食べ過ぎの様ですが、食塩もひかえ目にしている

と試みてみました。食生活、日常生活に気をつけてみえるようです。片麻痺があり歩行出来ないのが残念だと言ってみえます。体操も毎回ラジオに合わせて一生懸命やっています。老人性痴呆もなく、色々な数多くの本を読んでみえます。

家族は子供さんもなく近くに親類の方がみえるだけだにか淋しそうです。テレビも好きで、水戸黄門、一休さんなど毎日見ると言っています。訪問看護で他の所へ行っても皆さん見ているのは同じだと思いましたが。お話が好きで私達の訪問を待っている様です。

倒れる前は、庭いじりが好きでお花を沢山つくったそうです。庭にはきれいにスイトピー、パンジーが咲いています。歩けないので、世話が出来ないのが悲しいと言ってみえました。近くの親類の人が時々草を取りに来てくれるそうです。次回訪問する時は、どんな花が咲いているのか楽しみです。



珠藻荘の入居者処遇について

珠藻荘生活指導員 川角 卓央

何らかの事情により、重度の障害を受け家庭での介護が困難なため、こうした施設に入ってこられる訳ですが、どれだけのほうが機能回復ができ、社会復帰が可能でしょうか。一生ベッド上での生活を余儀なくされる方もみえる事と思います。それも生れてから一度も口がきけず、歩けず、世の中もわからないまま、数十年間生きていくだけという方も含めて、そうした方々の幸せをどう考えたらよいのでしょうか。

又、処遇について考えた場合、老人ホームにも年令の差はあります。しかし御老人だという認識のもと、統一したサークル活動、グループ指導は可能です。しかしこうした施設の場合は、十八才より六十才までのいわば世代の違いが明確にあらわれる方々です。そうした方々への処遇、指導について考えた場合、グループ

指導というものができるかどうか、非常に限られた内容のものとなる事と思いますし、どうしても個人処遇が中心になるように思われます。

現在数名の方々が、自分の趣味に応じた、詩作、絵画、手芸等をして、歌に夢中になったりしている人がいます。そこで直接処遇の職員から言えば、寮父母がしっかりした担当をとり、個人の処遇にあたり、又、訓練指導員は、運動療法のみならず、作業療法、レクリエーション指導等を行う事が重要となってきました。当然指導員は、入居者全体の把握をし、全体の行事の企画と運営をし、更に各部署の処遇方針を一定させていかなければなりません。

話し合いの時の中心議題でしたが果して、この人達に私達職員が何をしてあげられるかという事です。個人処遇を基礎とし、そこから全体的処遇を考えなければなりません。

現在、本当に小さな事かもしれないせん。こんな事かと思う事かもわか

りませんが、落ち着きを取り戻した中から何かの意欲が生れてるようです。どんな事でもその一つ一つを大切にし、決しておろそかにせず取りあげて真剣に対処していきたいと思えます。

又、話し合いの中で「お世話をしなさい」という気持ちでかといふ事について、職員の間で意見ができました。共通している事はやはり、お互いの立場を認め、尊重し、決して非人道的言動をとってはならないという事です。お世話をするのは職員として当然の事で、感謝しろと強要するのは、大変誤った考え方だといふ事です。自然に感謝されたり、自然にお世話ができるのは自然なごく普通の人間関係の中から生れてくるものと思われれます。

ある入居者の一人が言いました。

「私は立派な設備、立派な器具等が揃っていなくても気軽に話しに来してくれる事、いっしょにお茶でも飲んでくれる事、又、私は外にめった

に出られないから、外で見た事、した事等を聞かせてくれる事、そうしてくれる事が一番うれしいのだヨ」と。

入居者の方々の真の幸せとは…。そのための私達の役割は…。又、私達はそれを入居者の方々と共に、どのように考えていったら良いのか当面の、いや今後ずっと考えなければならぬ大きな課題です。

渡る風 花の香りを運びしも
吾身に春は しばし時をかる
春風に 吹かれし我が身車イス
今日あらたなる 門出なりしか
出逢ひとは
かくも素晴らしき事なりき
我が人生の 宝なりしや
素晴らしき 若者達に出逢ひしや
我が人生の 最大の幸
素晴らしき 若者達に迎へられ
見ることに聞くこと 天使の如し

珠藻荘に入所して

小池 克雄



〈早蕨市民大学〉 野外教育に参加して

豊橋市東小鷹野 高橋 角次

湖西の自然を訪ねて、野外教育が実施されました。

去る五月八日、午前十時東田バス停に集合、豊鉄バス三ヶ日行に乗車、小雨模様の空を気にしながら、子供の遠足気分そのまま談笑した。バスは多米峠を越え、湖西市に入る。この日、講師として、恒川敏雄先生のご案内を得て、終日楽しく過ごすことが出来ました。

午前十一時、新瀬戸橋に下車、吊橋を渡り、大崎に歩く。このあたりより、植物に造詣深い恒川先生から説明を聞く。

紫の花が咲いている「はまえんどう」、薄紫の花の「はまだいこん」四弁花十字なり。湖沿いを行き、猪鼻岩に近づくと、小祠ありて、板碑に祭神武甕槌命、市杵嶋姫命を祀る。この猪鼻岩から見る三ヶ日の町は遠く雨霧の中にあつて、一幅の墨絵



恒川講師(左端)よりお話をきく参加者の皆さん=湖西瀬戸

を見るようであつた。

猪の鼻に似たる巖の湖の面に

映りておかし 瀬戸の小島は

湖沿ひの徑に群れ咲くはまだいこん

祈りて光る 四弁十字花

さわらびの縁に集ふ けふの旅

心ふれ合ふ ひとときをもつ

やがて丘に登り、持参の弁当を開

き、楽しく昼食をとつた。篤志家が

御持参の筍飯を御相伴したり、漬物

をいただき満足、又、お茶は如何か

との声もかかり幸せ一杯であつた。

昼食が終つてから円陣を作り、自

己紹介となつた。全員十六名、年齢

住所、職業、それぞれ話術も巧みに、

聞きし側も熱心に耳を傾け、打ち溶

け合つた一時間であつた。

次は浜名湖ドライブインまでゆつ

くり歩く。やまゆづりば、やまもも、

みもぎあかしや、ひとつばしだ、や

まほほづき、つるな、アメリカデイ

ゴ、トペラ、ハイビスカス、カボク

等の見るものの名前を聞いてメモす

る。

たづね来し浜名の湖辺アカシヤの

散りしを惜しむ 柔葉にふれて

気負ふごと

アメリカデイゴ芽吹ききて

炎と赤く 咲く日おもひぬ

午後三時十五分瀬戸バス停にて乗

車、豊橋へ帰途に着く。

本日の野外教育に於いて参加者全

員お互いに、話し合ひの内に心の通

うものがあり、まことに嬉しかった。

こぼれ実の一冬耐へて春の陽を

受けて息吹けり 小さき向日葵

院内放送

朝の言葉

家族の立場

ケースワーカー 高部 ゆかり



三月、私の父が突然病気になる、浜松市内の病院へ入院しました。日頃は職員として、病院に勤めています。この時は患者の家族の立場でした。すると、日頃気づかなかつた事にいろいろ気づくようになりました。例えば、お医者さんはどんな人かな、看護婦さんはどんな人かな、するのだろうか等、ふだん何げなくみている患者さんへの対応も、やはり自分の親の事となると、どこか違って見えるものです。

そして、私は考えました。「自分も入院している患者さんの家族からみれば、そのように話すこと、行動をみられるいるんだな。だから、家族にわけのわからないような行動をしてはいけないな」と。そして、医療の内容、治療方針等、病院との信頼関係を強くする意味でも、積極的に家族に伝えてゆかなければと考えました。

野依福祉村建設資金寄付ご芳名

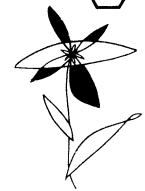
〔寄付金〕

- 一、豊橋市 匿名希望 拾貳萬円
- 一、豊橋市花田町百北七〇 田中八重氏 壹萬円
- 一、豊橋市東雲町一六二の二 山本孝之氏 貳拾萬円
- 一、豊橋市牟呂町字市場一三七の一 (株)オーエスオカダ 参拾萬円
- 一、豊橋市吉川町四〇 井上商店 五千元
- 一、豊橋市八町通五丁目八七 小久保商店 貳萬円
- 一、南設楽郡鳳来町長篠鳳来町 鳳来町老人クラブ連合会 拾萬円
- 一、豊橋市東小鷹野二丁目二二の二 東美鷹クラブ 六千元
- 一、豊橋市忠興二丁目一七の四 忠興三八和会 六千元
- 一、湖西市入出一四九の二 山本 博氏 壹萬円
- 一、東京都杉並区下高井戸三の三一 齊藤典和氏 五千元

現在迄御寄付頂きました金額は、四千八百六拾萬貳千五百八拾九円。

〔きょうじ日記〕

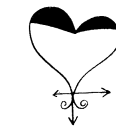
病 院



- 4月17日 薬事審議会・早蕨大学 (講師 大森 修)
- 4月19日 医師会当直医
- 4月23日 早蕨大学(講師生田博之)
- 4月24日 保健所より監査
- 4月25日 リハビリ研究会・家族会
- 4月26日 幹部会・行楽委員会合同 会議
- 4月28日 医学講座
- 4月30日 市特養老人ホーム慰問
- 5月1日 早蕨大学(講師山本孝之)
- 5月3日 医師会当直医
- 5月8日 早蕨大学(野外教育)講 師 恒川敏雄)
- 5月9日 高橋所長(珠藻荘)告別式
- 5月12日 青陵中学内科検診
- 5月13日 青陵中ツベルクリン反応
- 5月15日 早蕨大学(講師 大森修)
- 青陵中ツ反判定・BCG

へさわらび荘

- 4月18日 処遇研究会
- 4月26日 立正佼成会婦人部慰問
- 豊橋東高校生慰問
- 5月7日 処遇研究会
- 5月8日 衣類販売
- 5月10日 豊橋東高校生慰問
- 5月14日 東田老人農園よりえんど う寄付
- 4月26日 愛大女子短社会福祉研究 会より八名慰問
- 5月6日 主任会議・処遇について
- 5月8日 寮母会議
- 5月14日 寮母会議
- 5月17日 愛大女子短社会福祉研究 会より八名慰問
- 4月30日現在まで入居者十五名。
- 〈介護状況〉歩行可(介助必要)二 名、車イス利用六名、寝たきり七名。
- 〈年齢別〉二十〜二十九歳——三名 三十〜三十九歳——四名、四十〜四 十九歳——四名、五十歳以上——四名。



6月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	住 所	TEL.	
	ギャラリー朝日								水野 佐紀 陶展																							豊橋市大岡町80	55-3301
ギャラリーL								Part 6																								市内大橋通3-125	53-0187
豊橋市美術博物館								文化財 写真展																								市内今橋町3	51-2621
豊橋市民文化会館								石木展																								市内向山大池町20	61-5111
札木画廊								水墨画展1部																								市内札木町63	54-5752
紅の木画廊								17人展																								市内札木町107	52-3756
マツバ画廊								南画展																								市内松葉町2	52-8910
マツモト画廊								きたうら展																								市内呉服町11	52-3216
隆英堂画廊								版画展																								市内新川町51	54-0727

6月 美術案内 (豊橋市)